

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 要人往
来総務長官等訪沖(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43236

大平外相
昭
37
7

南支班

大臣秘書官

秘 封

大臣の沖縄立ち寄りについて (1954.7.2) (北米課)

7月2日 在米大使館 Farrion 書記官より、北米課 坂村 に対し、大平大臣の沖縄立ち寄りに関し、高等弁務官より、つきとりの接遇を考えて"ると、大平の御都合を伺った旨、連絡があった由申し渡した。

1. 往路
空港に一言を用意しておくから、飛行機のスケジュールの許可限り懇話した。

2. 復路
空港にヘリコプターを用意し、沖縄南部の空からの視察にお供した。
(弁務官同乗)

GA-6

外務省

大平 閣下
7月2日
在米大使館
Farrion 書記官
より
北米課 坂村
に対し
大平大臣の
沖縄立ち寄り
に関し
高等弁務官
より
つきとりの
接遇を考えて
と、大平の
御都合を伺った
旨、連絡があ
った由申し
渡した。

極 秘

秘

アジア局長

アメリカ局長

参事官

北米課長

大平外務大臣の台湾訪問の途次、沖縄立ち寄りの際におけるアライエ、高等弁務官との会談の件

(1954.7.6) (北米課)

大平外務大臣は今回の台湾訪問の経路、帰路に沖縄に立ち寄るが、その際、アライエ、高等弁務官との会談振りについてアライエ局長、中国課、藤田参事官に聴取せられた。次のとおり。

1. 経路 (7月3日)
会談には先ずアライエ、高等弁務官及び通訳当分の大臣及び後官アジア局長が出席した。このうち、在京中国代理大使も同席したので、あ

GA-5

36

突込した話をする空気ではなから。ト。

「ボウウエイ」は現在の沖縄政情不安に關し

合駁しているのは一種の年中行事であつて、特に内
題とするにはあたらない。沖縄の自治権後退

といふ根本は琉球住民の自治能力の欠如^如で
あり、例へば、宮古水道局^如の規制に關する

布令も、これらの措置が必要であるにもかかわらず、
琉球政府が立法措置をとらない結果、やむを得ず

(1) 若い世代は老成があまり信用していない

糸数首相の布令により実施したものであつても説明す
るところがあつた。

これに対し、大臣は適宜応酬してゐたが、
その中で、追分野田総務長官がエマーソン公使に対し
(沖縄問題担当の政治家として)

申入をこなしたのは局長官が国内政治上の考慮
から行なつたものであつて、日本政府からの外交上

の問題としての正式の申入とは稍々性格的に
異なる。外交上の問題としてとりあげた場合はもと
（実情をよく見詰めて）

慎重にやる考へであつたといふように説明された。キヤ
2. 帰路^{（7月5日）}
（7月5日）

ハリコプターに於て沖縄南部を視察されたが、
その際の塔長者は、ボウウエイ局長糸数大田行政主席

大臣、後官アエア局長、及び森田秘書長であつた。

ハリコプターの中では騒音も^微しく格別な話して

なかつた。

なお、藤田南連沙長が大臣に対し、技術委員会は

15日頃に南連沙長の見送してある旨の説明があつた
由である。